平成２３年度

事　業　概　要

平成２３年４月

国土交通省　中部地方整備局
北勢国道事務所

ミッション（使命）

三重県北勢・伊賀地域の安全で円滑な道路交通を目指して

北勢国道事務所は，北勢・伊賀地域の道路整備を通して，道路交通渋滞の緩和や道路交通事故の削減等を図り，「活力ある社会」「安全・安心」「生活環境の創造」に貢献します。

道路事業の目標

三重県の北勢地域，伊賀地域は，中部圏と関西圏を結ぶ交通の要となる地域で，産業や観光等が活発な三重県全域を牽引する元気な地域ですが，慢性的な道路交通渋滞や交通事故が多発する地域でもあり，暮らしや経済等に大きな影響を与えています。

この為，それらの解消と更なる発展のために次の三つを目標に定め，この実現に努めます。これにより，三重県民の元気づくり『県民しあわせプラン』を支援します。

暮らしや産業を支える活力ある社会の形成

都市部の集中する通勤交通や沿岸部の物流交通等により発生する慢性的な道路交通渋滞を緩和し、活力ある社会の実現に向け，道路ネットワークの構築を効率的に進めます。

- 高規格道路ネットワークの形成
  - 国道４７５号東海環状自動車道：北勢地域の高速アクセスの向上
- 広域的ネットワークを支援し，都市の骨格となる道づくり
  - 国道１号北勢バイパス：四日市都市圏の渋滞緩和
  - 国道１号関バイパス　：亀山ＩＣ周辺の渋滞緩和
  - 国道１号桑名東部拡幅：伊勢大橋の架け替えと渋滞緩和
  - 国道２５８号大桑道路：桑名・大垣間の渋滞緩和

安全・安心できる暮らしの確保

安全・安心な暮らしの実現に向け，交通事故対策や道路施設の耐震強化及び防災対策を進めます。

- 安心・安全な道路づくり
  - 国道２５号名阪国道：亀山・伊賀地域の道路交通の安全・安心の向上

質の高い生活環境の創造への支援

歩行者，自転車などの幅広い道路利用者への道路空間を利用した各種サービスの提供及び沿道環境の保全等により，質の高い生活空間の創造を支援します。

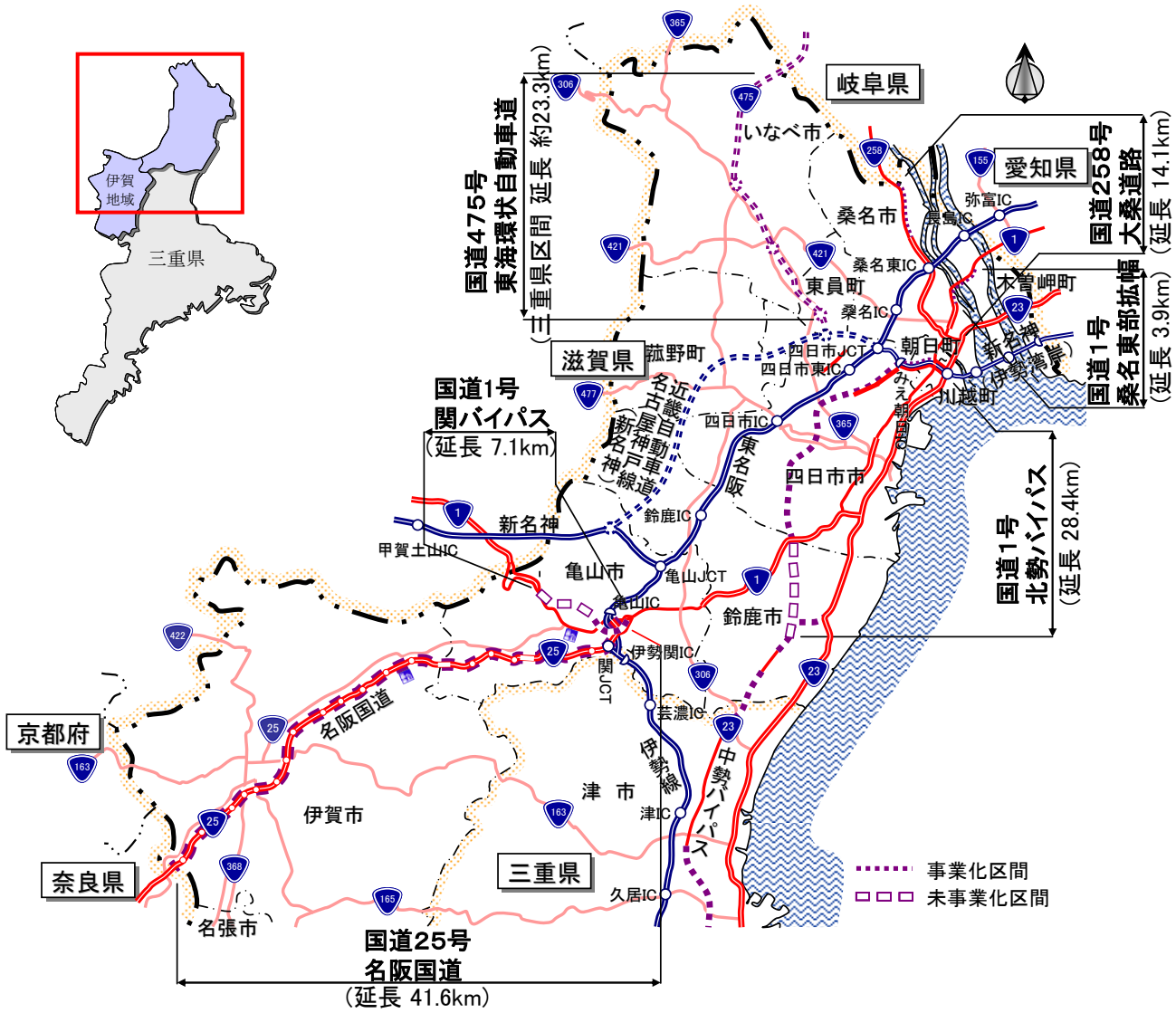
１．北勢国道事務所の所管

北勢国道事務所は，国道１号，２５号，２５８号，４７５号の４路線，約118kmの整備事業を担当するとともに，国道２５号名阪国道（延長41.6km）の維持管理を担当しています。

広域的なネットワークの形成を図る国道１号北勢バイパスと関バイパスの整備，国道１号桑名東部拡幅，国道２５８号大桑道路の現道拡幅事業及び高規格道路ネットワークを形成する高規格幹線道路の国道４７５号東海環状自動車道（三重・岐阜県境～四日市市）の整備・推進を行っています。

交通事故や老朽化する道路施設に対応するため，国道２５号名阪国道（三重県区間）の交通安全対策の整備方針に基づいた，インター改良・路肩拡幅等の交通安全対策及び橋の耐震補強等を推進するとともに日常の維持管理、損傷した施設の修繕を行っています。

○　事業箇所



北勢国道事務所事業箇所

路線名	箇所名	事業延長 (km)	区　　間
１号	北勢バイパス	２１．０	三重郡川越町～四日市市采女
	関バイパス	２．５	亀山市太岡寺町～同市関町鷲山
	桑名東部拡幅	３．９	桑名市長島町又木～同市北浜町
２５号	名阪国道	４１．６	亀山市太岡寺町～三重・奈良県境
２５８号	大桑道路	１４．１	桑名市多度町柚井～同市城南和泉
４７５号	東海環状自動車道 (養老～北勢)	９．０	岐阜・三重県境～いなべ市北勢町
	東海環状自動車道 (北勢～四日市)	１４．４	いなべ市北勢町～四日市市北山町

２．北勢国道事務所の事業費

○ 平成２３年度事業費

費　　目	事　業　費 (百万円)	備　　考
国道１号北勢バイパス	1,780	
国道１号関バイパス	75	
国道１号桑名東部拡幅	200	
国道２５号名阪国道	160	
国道２５８号大桑道路	240	
国道４７５号東海環状自動車道	1,026	
交通安全関係等	741	

(注) 4月1日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について５％を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則５％程度の予算執行が留保されることとなる。

３．北勢国道事務所の事業内容

○平成２３年度の事業内容

北勢バイパス	：四日市市垂坂町～㊥日永八郷線間の工事及び用地取得等を推進し、㊥日永八郷線～四日市市釆女間の国道４７７号バイパス間の用地取得、工事及び調査設計を推進します。
関バイパス	：亀山市太岡寺町～亀山市関町鷲山間の改良工事を推進します。
桑名東部拡幅	：桑名市長島町叉木～桑名市北浜町間の用地取得を継続するとともに、架替に必要な環境調査、補償調査を推進します。
名阪国道	：亀山ＩＣ～治田ＩＣ間の改良工事を推進します。
大桑道路	：桑名市多度町香取～桑名市多度町下野代間において橋梁下部工事を推進し、桑名市多度町柚井～桑名市多度町香取間において調査設計を推進します。
東海環状自動車道	：東員ＩＣ（仮称）～四日市北ＪＣＴ（仮称）間の用地取得及び工事を推進し，北勢ＩＣ(仮称)～東員ＩＣ（仮称）間の環境調査、県境～北勢ＩＣ（仮称）間の環境調査を進めます。
交通安全関係等	：国道２５号名阪国道（亀山市関町～伊賀市治田間）の調査設計、改良工事を推進します。

国道１号北勢バイパス

１．目的

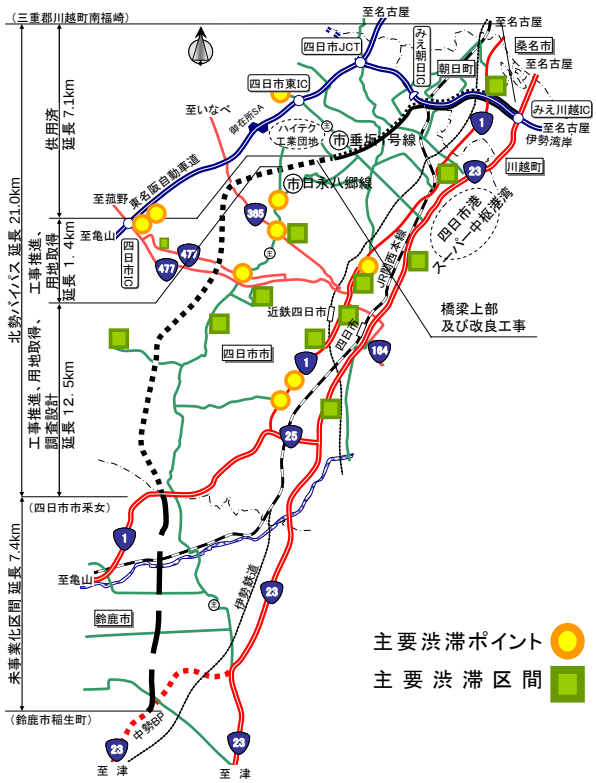
北勢バイパスは，四日市市を中心とする北勢地域の環状道路として，国道１号・２３号等の渋滞緩和，交通安全の確保及び地域開発の支援を目的とした道路です。

２．概要

北勢バイパスは，三重郡川越町南福崎（国道２３号名四国道）～鈴鹿市稲生町（国道２３号中勢バイパス）に至る延長約28kmの幹線道路で，現在、みえ川越ＩＣ～三重郡朝日町小向までの延長1.2kmを完成４車線で、三重郡朝日町小向～㊥垂坂１号線までの延長5.9kmを暫定２車線で供用しています。

また、四日市市垂坂 町 ～㊥日永八郷線区間（延長1.4km）について、平成２６年度供用を目標としています。

本年度は，四日市市垂坂 町 ～㊥日永八郷線間において工事及び用地取得等を進めるとともに、㊥日永八郷線～四日市市采女間において工事、用地取得及び調査設計を推進します。



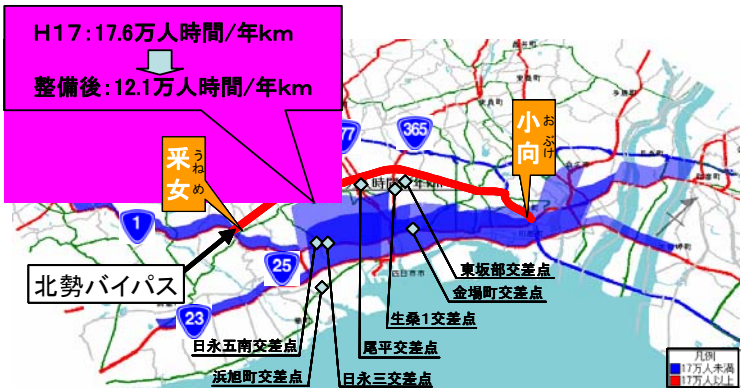
- **主要渋滞ポイントの定義**
  ＤＩＤ（人口集中地区）内
  … 渋滞長 1000m 以上　又は　通過時間 10 分以上
  ＤＩＤ外
  … 渋滞長 500m 以上　又は　通過時間 5 分以上
- **主要渋滞区間の定義**
  渋滞損失時間※1が中部地整管内上位２割区間の優先順位の高い区間（H16 実績）

※１渋滞損失時間…渋滞がない場合と比較して渋滞の発生により余分に要する時間

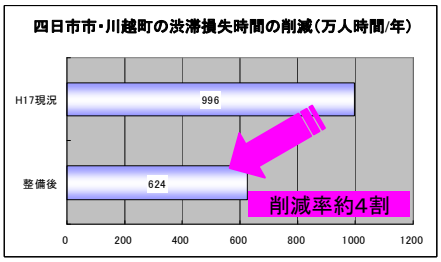
幹線道路の交通混雑緩和

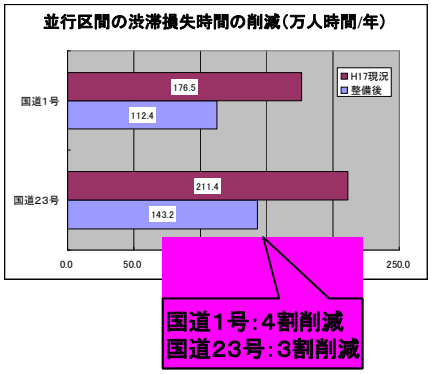
・北勢バイパスの整備により、分散機能が発揮され並行する１号、23 号の主要渋滞ポイントを含む区間の渋滞損失時間を削減します。

＜幹線道路の交通混雑緩和・解消＞



◇：主要渋滞ポイント

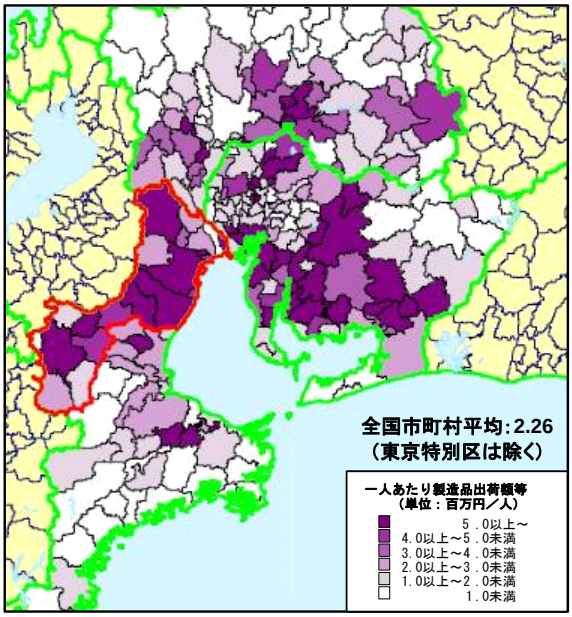




地域開発の発展をうながす道路

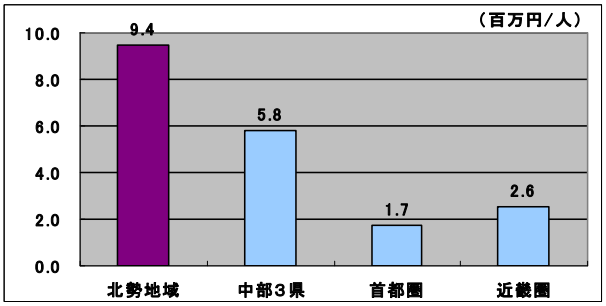
・三重県において、北勢地域は特に生産力が高く、県内製造品出荷額７０％超を占める県経済を支えるエリアであり、多くの工業団地が立地しています。

＜北勢地域の経済状況＞



出典：H15工業統計（経済産業省）、
H15住民基本台帳人口要覧（総務省）を基に作成

中部において特に生産力の高いエリア



さらに

三重県内の製造品出荷額の 67%を占める県経済を支えるエリア

■人口	：82 万人	県全体の 44%
■年間製造品出荷額等	：7.7 兆円	県全体の 67%
■年間小売業販売額	：8,800 億円	県全体の 45%
■年間観光入込み客数	：1,300 万人	県全体の 39%

出典：工業統計、商業統計、住民基本台帳
三重県ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ統計を基に作成

国道１号関バイパス

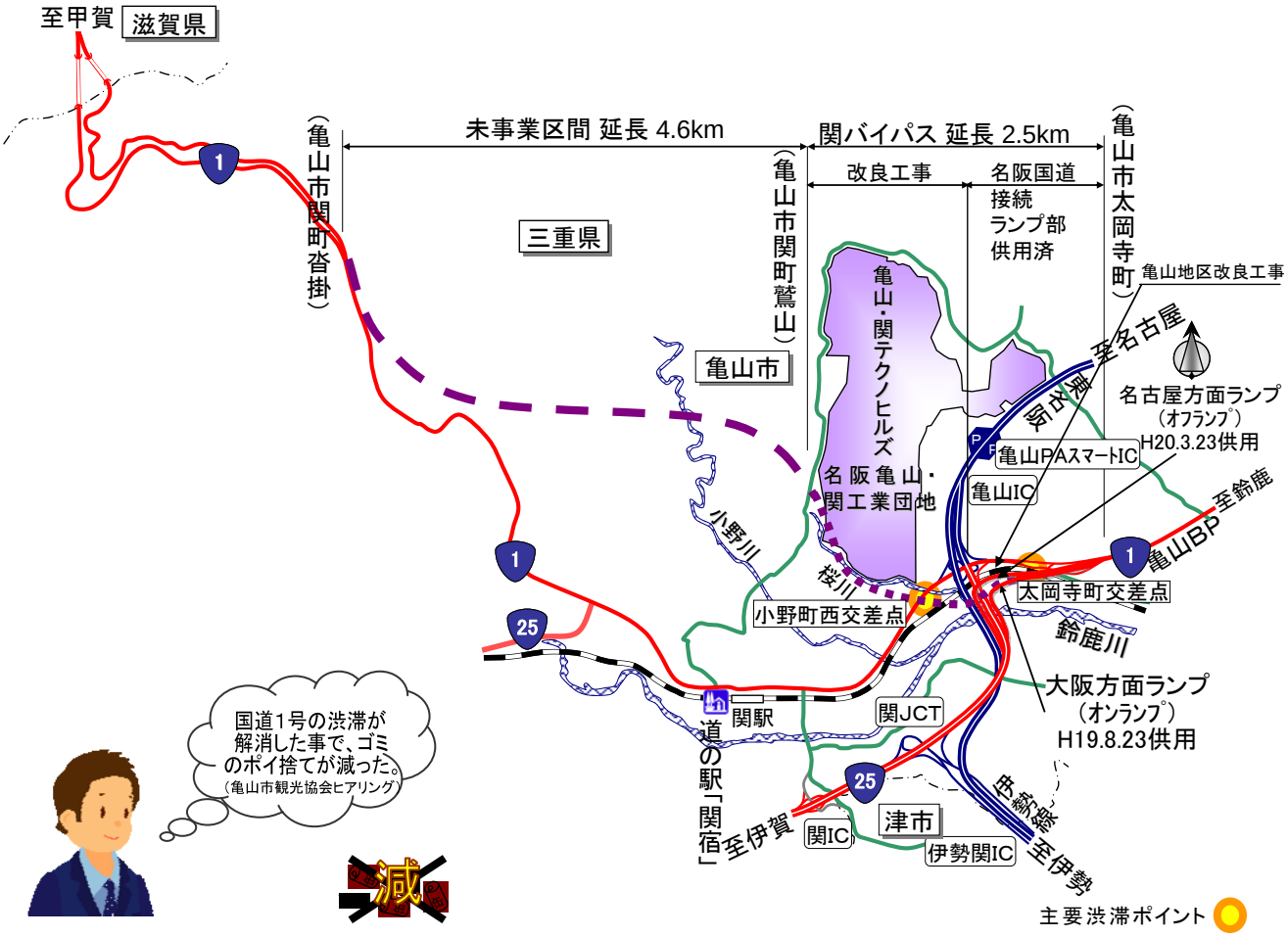
１．目的

関バイパスは，国道１号の増加する交通量への対応，交通安全の確保を図り，さらには地域発展の核となるプロジェクトの支援を目的に計画された道路です。

２．概要

関バイパスは，亀山市太岡寺町～同市関町沓掛迄の延長約7.1kmの幹線道路で，平成19年度に名阪接続ランプを開通しています。これにより，主要渋滞ポイントであった国道１号太岡寺交差点の渋滞が緩和されました。

本年度は，亀山市太岡寺町～亀山市関町鷲山間において改良工事を推進します。



地域経済の支援

現在の交通状況

平成１９年度の国道1号と名阪国道を直結するランプの整理により、主要渋滞ポイントである太岡寺町交差点の渋滞が改善されました。しかし、国道1号の太岡寺町～小野町西間の渋滞損失時間は、依然として三重県内の国道平均の６倍と高い状態です。

関バイパスの開通により、交通が分散し、現道の交通混雑の緩和に寄与します。

■亀山・関テクノヒルズは近年も企業進出が継続（特に物流企業が顕著）

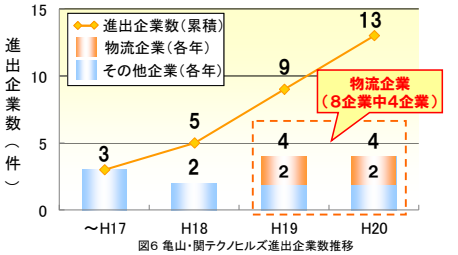


図6 亀山・関テクノヒルズ進出企業数推移
出典：亀山・関テクノヒルズHP

■亀山・関テクノヒルズ進出企業リスト

表1 亀山・関テクノヒルズ進出企業一覧

	進出企業名	進出年
1	ユーテック(株)	H15
2	シャープ(株) 第1工場	H16
3	凸版印刷(株)	H16
4	シャープ(株) 第2工場	H18
5	丸一(株)	H18
6	中部電力(株)	H19
7	(株)赤福	H19
8	富士運輸(株)	H19
9	(株)カワキタエクスプレス	H19
10	東海西部運輸(株)	H20
11	日本トランスシティ(株)	H20
12	福田三商(株)	H20
13	(有)清水製作所	H20

出典：亀山・関テクノヒルズHP

■関バイパス整備により、高速道路へのアクセス性の向上や地域流動の円滑化に寄与します。

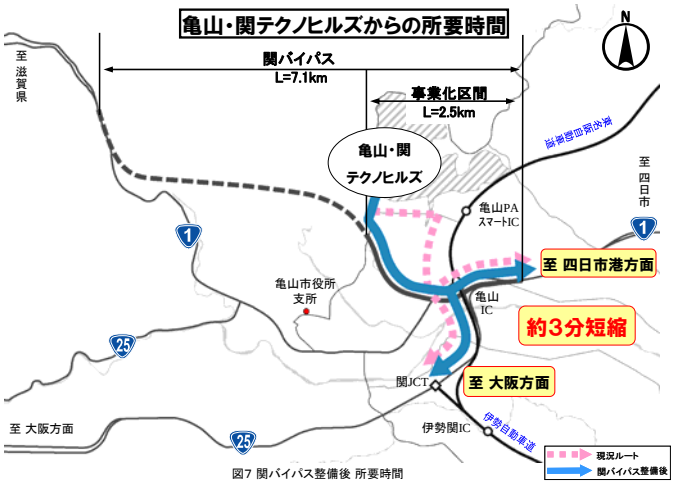


図7 関バイパス整備後 所要時間

※所要時間算定方法 ・現況：プローブデータ(H20)、市道(プローブデータ無し)は30km/hと仮定
・関バイパス整備後：関BP区間、並行区間を規制速度と仮定し算定(他区間は現況同様)

バイパス整備により地域環境が良好に

・ランプ開通に伴い主要渋滞ポイントである太岡寺交差点の渋滞を緩和しました。

■大阪行きランプ整備により太岡寺町交差点の渋滞がほぼ解消

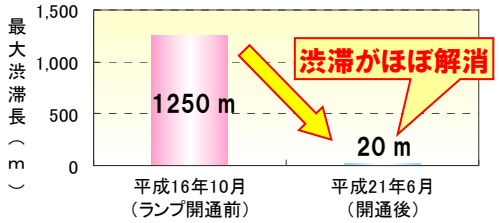


図１ 名阪国道直結ランプ整備前後 太岡寺町交差点最大渋滞長
出典：H16、H21交通量調査

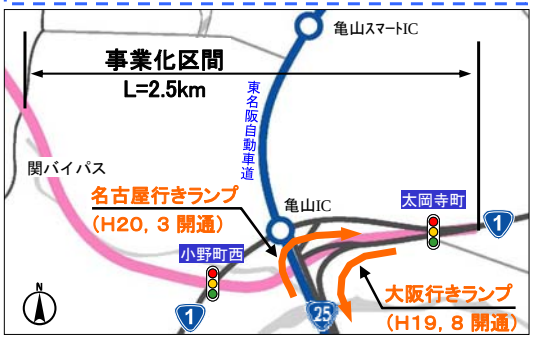


図２ 名阪国道直結ランプ位置図

＜大阪行ランプ開通前後の太岡寺交差点＞

■現道国道１号の亀山IC周辺では三重県国道平均の約6倍となる大規模な渋滞損失が発生

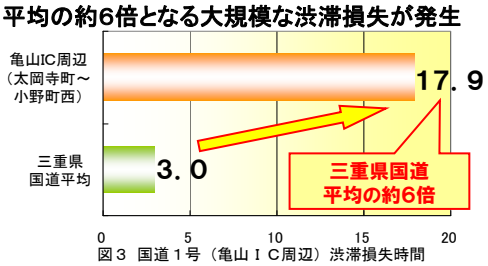


図３ 国道１号（亀山ＩＣ周辺）渋滞損失時間
出典：渋滞損失時間確定値（Ｈ２０）

図４ 国道１号渋滞状況（亀山市関町木崎付近）

国道１号桑名東部拡幅

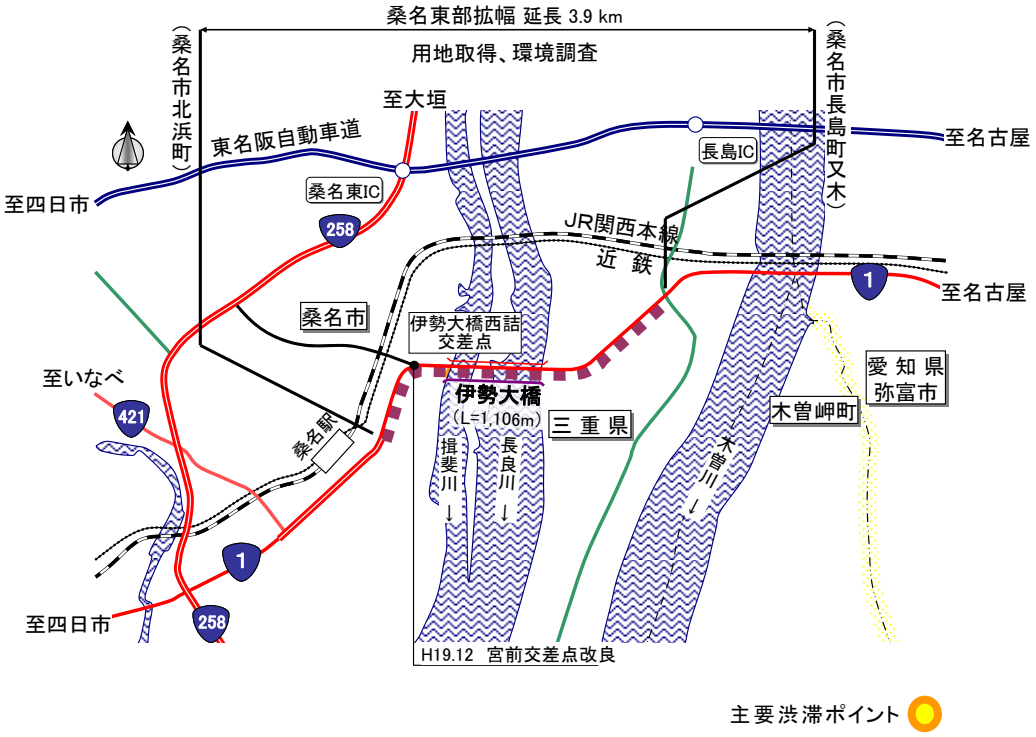
１．目的

桑名東部拡幅は，昭和９年架橋で老朽化の著しい伊勢大橋の架け替え及び現道の渋滞緩和，交通安全確保を目的に計画された拡幅事業です。

２．概要

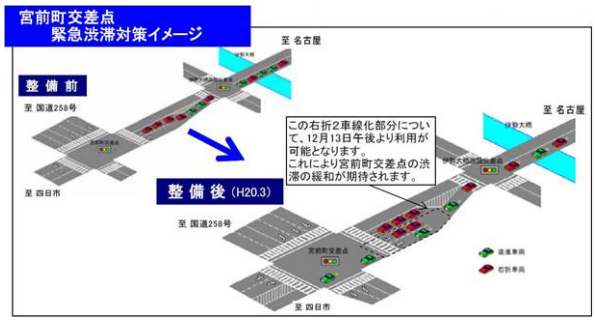
桑名東部拡幅は，桑名市長島町又木～同市北浜町間の延長3.9kmの現道拡幅事業です。

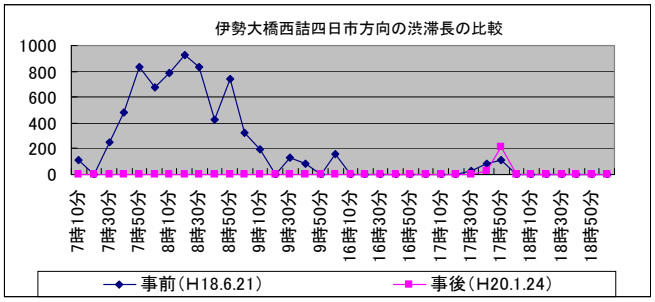
本年度は，桑名市長島町又木～桑名市北浜町間で用地取得及び環境調査を推進します。



幹線道路の交通混雑緩和･解消

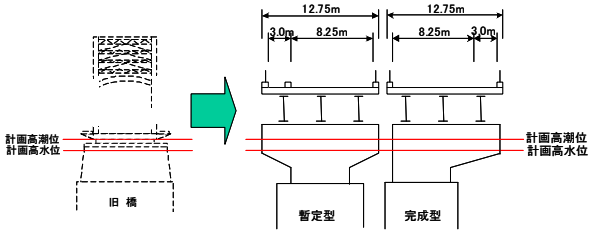
平成１９年１２月の宮前交差点改良が供用し、主要渋滞ポイントである西詰交差点の渋滞を緩和しました。



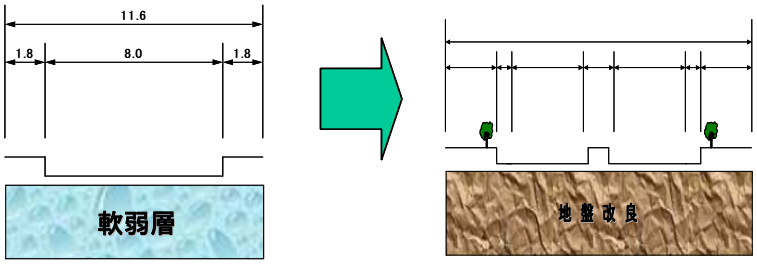


安全な生活環境の確保

＜道路の防災対策・危機管理の充実＞



【整備前】



●伊勢大橋の架替では橋梁嵩上げと築堤により、治水安全度が向上
●大規模な地震にも対応できる耐震性に優れた橋梁
●地震時等の避難緊急路や緊急輸送道路

●現道は、軟弱地盤であるが本事業において、液状化対策を実施し、地震時等の避難緊急路や第一次緊急輸送道路の形成を確保

伊勢大橋の老朽化対策

・伊勢大橋は、昭和９年度（７３年経過）に竣工し、長年の雨水・塩害影響により老朽化が進んでいます。
・Ｂ活荷重（※１）対応がなされていないため、総重量 25ｔの車両もしくは ISO 規格背高海上コンテナ輸送車（※２）が通行できない状態にあり、早期の架け替えが必要です。

＜中堤上流からの全景＞

※１　Ｂ活荷重とは
道路橋示方書で定められた自動車荷重であり、車両総重量２５ｔの大型トラックを想定。この荷重が適用される道路は、大型車交通量の多い路線を対象としている。
　○対象道路
　　○高速自動車国道、国道、都道府県道
　　○上記道路と基幹的な道路を形成する幹線市町村道

※２　ISO 規格背高海上コンテナ輸送車とは
ISO(国際標準化機構)規格を満たす貨物用コンテナのうち、長さが 40ft（12.192m）のものでさらに高さが約 2.9m のものを指す。

コンテナ

トレーラー

トレーラー諸元
全 長　：12,525mm
全 幅　：　2,490mm
全高　：　1,600mm
最大積載量：30,480kg
車両重量　：　4,190kg
第5輪荷重　：10,960kg

国道２５号名阪国道

１．目的

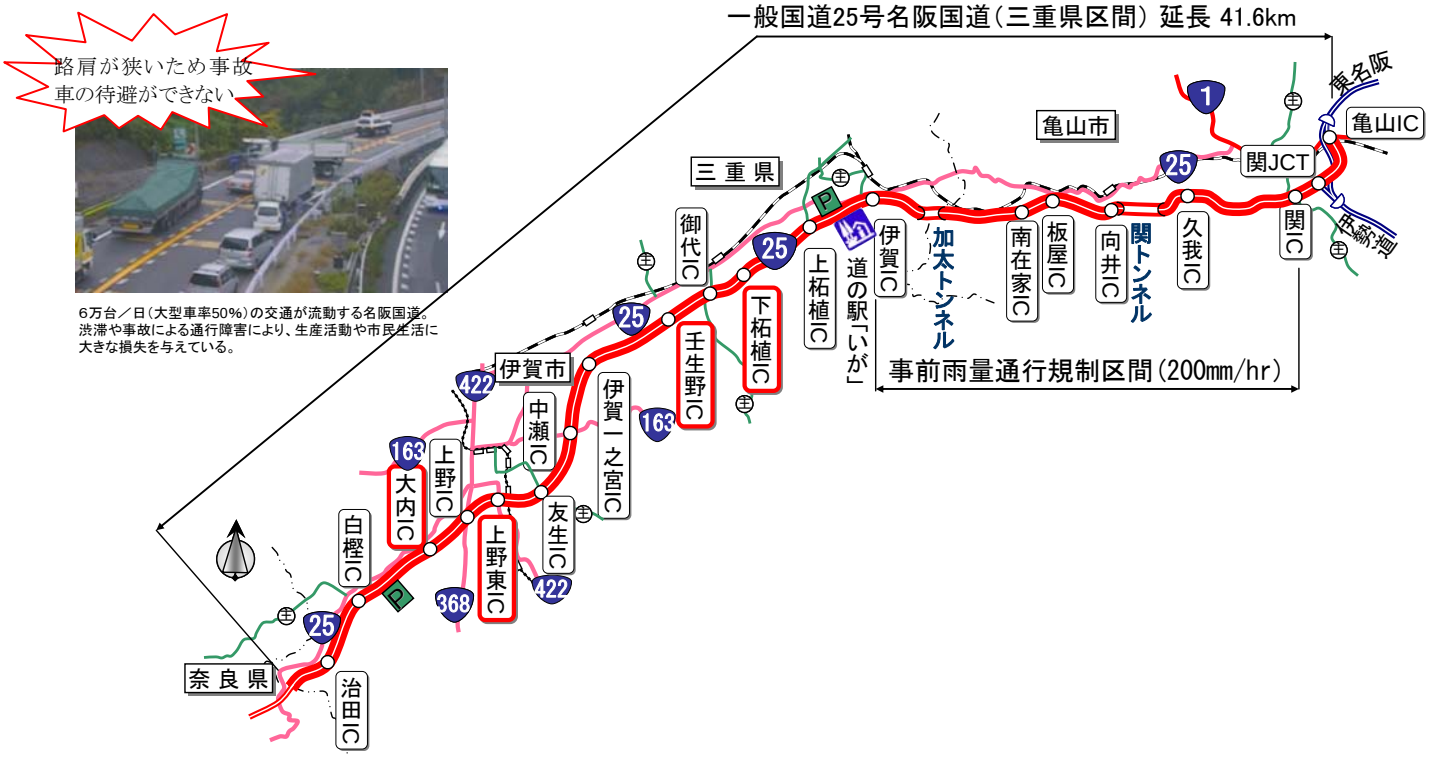
名阪国道は，三重県亀山市から奈良県天理市までの自動車専用道路であり、東名阪自動車道、西名阪自動車道と直結し、国土軸である名神高速道路の代替機能を有する道路です。

２．概要

国道２５号名阪国道は，三重県亀山市太岡寺町～奈良県天理市櫟本町迄の延長約73km(三重県内延長41.6km) の一般国道の自動車専用道路として建設され，昭和40年12月に暫定２車線で開通し，昭和55年３月には全線４車線で完成しました。現在は、増加する交通事故等の課題に対処するため，インターチェンジ改良や路肩拡幅等の道路構造の改善を進めるとともに、事前雨量通行規制区間の解除を目指した防災対策や耐震補強及び橋梁の長寿命化を進めています。

また、大内ＩＣについては、平成２５年度供用を目標としています。

本年度は，亀山ＩＣ～治田ＩＣ間の改良工事及び用地取得を実施します。



名阪国道の安全安心走行を考える懇談会を実施

・道路利用者の視点に立った事故危険箇所の抽出等のため、平成 18 年度から地域住民や道路利用者、関係機関が一体となった懇談会を開催し、名阪道路の安全安心走行管理に向けた対策案の立案と対策後のフォローアップを行っている。

＜ソフト対策＞
・地域ユーザー、輸送事業者等の自主的な意識啓発
・高速隊による取締り強化
・積極的な道路情報の提供
＜平成２２年度懇談会での主な意見＞
・合流表示板の設置位置が合流点に近いのではないか。
・名阪国道を高速道路と勘違いしているドライバーが多い、一般国道であることを標識で示した方が良い。

名阪国道の安全安心走行を考える懇談会

♦関係組織が一体となって検討し、安全対策の整備方針を決め対策を決めていきます。

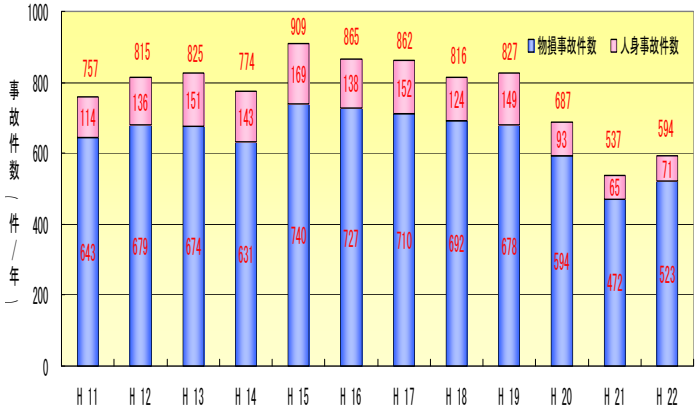
○懇談メンバー
・トラック協会
・女性会議
・商工会議所
・自治会長
・観光協会
・三重県
・警察
・国土交通省　等

○懇談会写真

事故対策の効果

平成 22 年の事故件数は 594 件／年で過去 10 年で２番目に少ない状況。

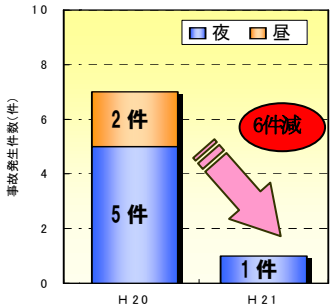
~名阪国道の事故発生件数の推移~



■対策例　下柘植（しもつげ）IC（IC合流部の情報表示板設置）

結果

対策後、事前に合流車を把握できるため合流車や後続車との接触事故の防止につながった。



維持管理

中京圏と阪神圏を結ぶ緊急輸送路である名阪国道（三重県区間）の安全で信頼性の高い道路を確保するために，日々の道路パトロール、冬季の凍結防止作業、路面・道路施設の保守・修繕等の維持・修繕事業、及び道路管理業務を実施しています。

道 路 管 理

・高度道路情報システムの活用を図り，迅速かつ正確な情報提供，道路交通の円滑化を推進
・道路空間を利用した光ファイバーネットワークシステムの高度化
・降雪時の路面状況や，工事規制による渋滞状況を２４時間リアルタイムで提供
・風水害・地震・雪害時における道路通行規制の実施
・特殊車両の通行許認可，道路占用の許認可等の実施

橋梁の長寿命化とは

今後老朽化する橋梁の増大に対応するため、損傷が軽微なうちに修繕し、現在の橋梁をより長く使う（橋梁の長寿命化）とともに、橋梁の修繕及び架替えに係る全体の費用縮減を図ります。

国道２５８号大桑道路

１．目的

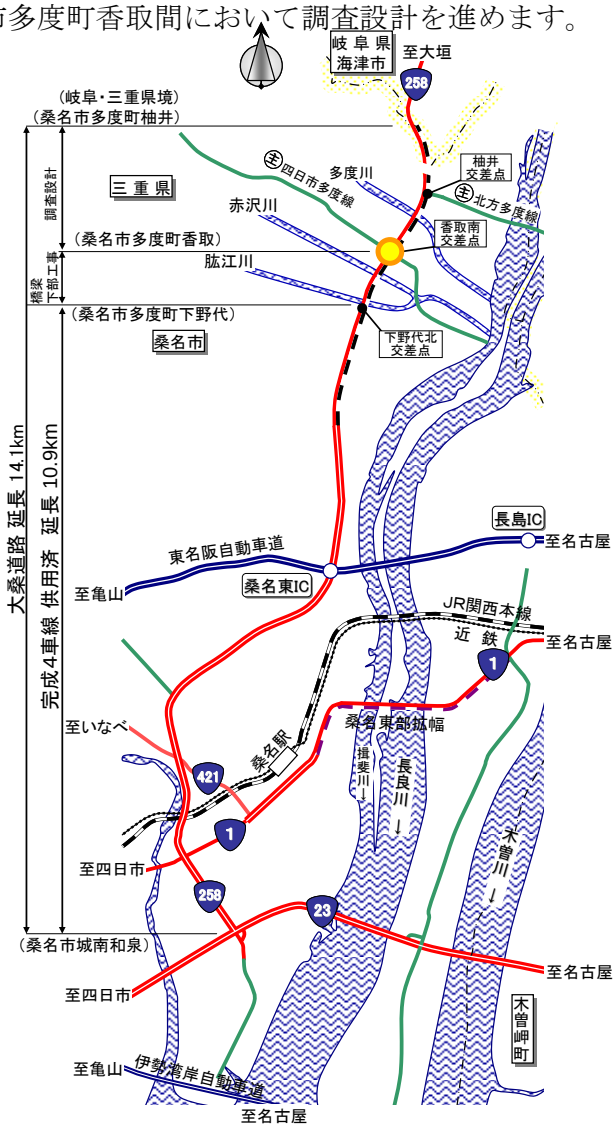
大桑道路は，岐阜県西濃地域と三重県北勢地域間の円滑な交通流確保及び地域開発支援を目的に計画された道路です。

２．概要

大桑道路は，延長41.6km（三重県内延長14.1km）の幹線道路で，昭和50年度までに全線暫定２車線で開通し，現在は，交通量の増大，車両の大型化に伴い，順次４車線化を進めています。このうち三重県区間の桑名市多度町下野代～同市城南和泉迄の延長10.9kmの４車線が完成しています。

また、桑名市多度町香取～桑名市多度町下野代間（延長1.3km）について、平成２６年度供用（４車化）を、桑名市多度町柚井～桑名市多度町香取間（延長0.9km）について、平成２７年度供用（４車化）を目標としています。

本年度は，桑名市多度町香取～桑名市多度町下野代間において橋梁下部工事を推進し，桑名市多度町柚井～桑名市多度町香取間において調査設計を進めます。



主要渋滞ポイント

地域間の交流、連携を強化

現在の交通状況

国道２５８号大桑道路の渋滞損失時間は三重・岐阜県内の国道平均の約２．６倍と高い状況です。

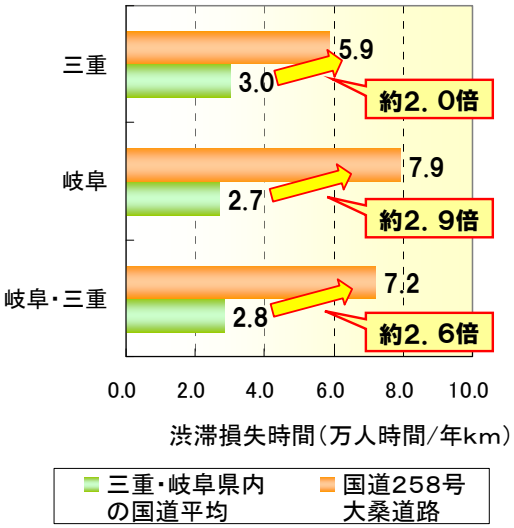


図３　国道２５８号大桑道路の渋滞損失時間

出典：渋滞損失時間確定値（Ｈ２０）

写真１　国道２５８号大桑道路香取南交差点付近の渋滞

出典：北勢国道事務所資料

四日市港との連携確保

物流効率化の支援

国道２５８号周辺及び西濃・滋賀方向から四日市港・名古屋港への物流軸を担う産業道路として機能しています

四日市港・名古屋港では、近年、外貨コンテナが好調であり、１０年間の貨物量変化は四日市港で２．０倍、名古屋港で１．７倍となっています。

大桑道路は、滋賀方面との輸送ルートとして位置づけられ、重要度が増大しています。

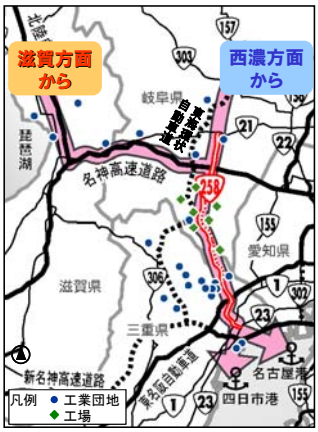


図５　大桑道路周辺の工場・工業団地の立地状況

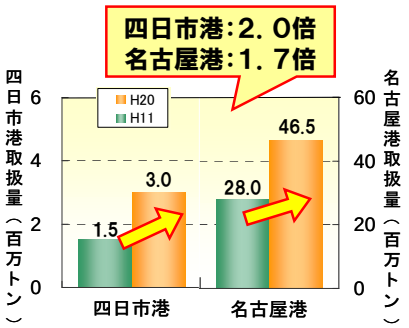


図６　四日市港・名古屋港における外貨コンテナ貨物量の推移

出典：四日市港・名古屋港統計年報（Ｈ１２、Ｈ２０）

写真１　大桑道路を走行するコンテナトレーラー

出典：北勢国道事務所資料

国道４７５号東海環状自動車道

１．目的

国道４７５号東海環状自動車道のうち，「養老～北勢」区間は，養老山脈に隔てられた岐阜県西濃地域と三重県北勢地域を直結することで，高速交通ネットワークを形成し，地域開発を支援することを目的とし，「北勢～四日市」区間は新名神高速道路と一体となって，三重県北勢地域の道路網の形成，交通結節点である四日市港への集積拡大による活性化，内陸部の適正な開発等を図ることを目的とした道路です。

２．概要

東海環状自動車道は，延長約160km（三重県内延長23.3km）の一般国道の自動車専用道路で，平成17年３月に豊田東ＪＣＴ～美濃関ＪＣＴ間の延長約73kmが供用しました。

平成２年度に北勢ＩＣ（いなべ市北勢町）～新名神高速道路四日市北ＪＣＴ（四日市市北山町）迄の延長14.4kmを事業着手し，平成19年度に岐阜・三重県境～北勢ＩＣ（いなべ市北勢町）迄の延長8.9kmを事業着手しました。

また、東員ＩＣ（仮称）～四日市北ＪＣＴ（仮称）間（延長1.7km）については、平成２７年度供用を目標としています。

本年度は、以下の事業を推進します。

- 東員ＩＣ（仮称）～四日市北ＪＣＴ（仮称）間については，用地取得，改良工事を推進します。
- 北勢ＩＣ（仮称）～東員ＩＣ（仮称）間については，環境調査を推進します。
- 県境～北勢ＩＣ（仮称）間については，環境調査を推進します。

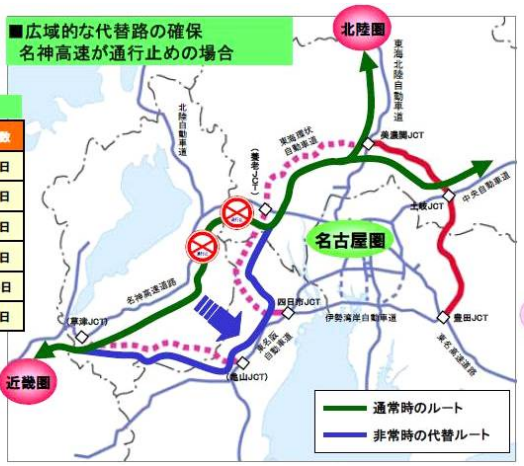
高速道路ネットワークの形成による 緊急時のリダンダンシー（代替機能）の確保

東海環状自動車道（西回り区間）の整備により、名神高速道路と東名阪自動車道をはじめとした、高速道路相互の代替機能が確保されます。国道 365 号には、国際コンテナ通行支障区間があり、東海環状（北勢～四日市）の整備により、代替機能の向上が期待できます。

■主要区間の通行止め日数（H17）

路線	区間	日数
名神	岐阜羽島IC～大垣IC	5日
	大垣IC～関ヶ原IC	5日
	関ヶ原IC～米原JCT	9日
	米原JCT～彦根IC	8日
東名阪	四日市JCT～四日市東IC	10日
	四日市東IC～四日市IC	5日

出典：中日本高速道路㈱資料



安心できる暮らしを確保

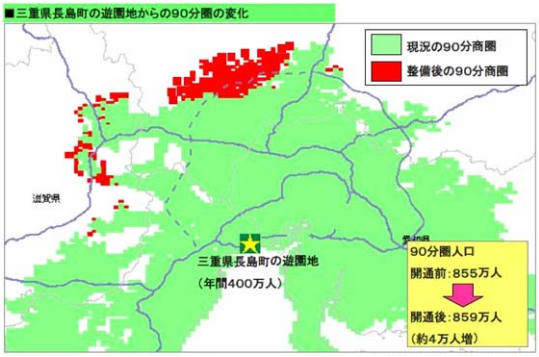
東海環状自動車道（西回り区間）の整備により、桑名市多度町から大垣市に立地する高次医療施設への搬送時間が短縮されます。

【アンケート･ヒアリング結果】
大垣市民病院は岐阜県であるが、多度町からは近いため国道258号を使って搬送する事がある。東海環状自動車（西回り区間）の整備により、到達が早くなると期待される。

（大垣市消防本部）

沿線の観光拠点との連携強化

・東海環状自動車道（北勢 IC～四日市 JCT）周辺には岐阜県･三重県でも有数の観光施設が集積しています。東海環状自動車道の整備により、沿線周辺施設の 90 分圏人口が増加し、東海環状自動車道を活用した観光周遊圏の形成が期待できます。



出典：デジタルロードマップ（DRM）より試算（H18）

■西部区間周辺の主な観光地
（年間入込数40万人以上）

（単位：人）

位置	名称	年間入込客数
①	谷汲山華厳寺	878,000
②	岐阜ファミリーパーク	410,825
③	伊奈波神社	1,400,000
	岐阜公園	879,000
	世界イベント村ぎふ	1,770,438
	長良川花火大会	500,000
④	南宮大社	420,148
⑤	養老公園	589,970
⑥	千代保稲荷神社	2,132,110
⑦	千本松原・国営木曽三川公園	1,399,838
⑧	長島温泉	4,485,000
⑨	多度大社	1,269,000
⑩	湯の山温泉	1,204,000

出典）平成17年岐阜県観光レクリエーション動態調査結果

○ 諸元一覧

路線名	１号			２５号	２５８号	４７５号	
箇所名	北勢バイパス	関バイパス	桑名東部拡幅	名阪道路	大桑道路	東海環状自動車道（三重県区間）	
当事務所事業区間	三重郡川越町南福崎～四日市市采女	亀山市太岡寺町～同市関町鷲山	桑名市長島町又木～同市北浜町	亀山市太岡寺町～三重・奈良県境	桑名市多度町柚井～同市城南和泉	岐阜三重県境～いなべ市北勢町	いなべ市北勢町～四日市市北山町
	延長21.0km	延長2.5km	延長3.9km	延長41.6km	延長14.1km	延長8.9km	延長14.4km
	計画延長約28.4km	計画延長約7.1km	－	全線延長73.2km	全線延長41.6km	三重県区間延長23.3km 全線延長L約160km	
構造規格設計速度	第３種１級 80 km/h (一部60km/h)	第３種２級 60km/h	第４種１級 60km/h	第１種３級 60，80km/h	第３種２級 (第４種１級) 60km/h	第１種２級 100km/h	
標準幅員	幅員25m ４車線	幅員28m ４車線	幅員30m ４車線	幅員22m ４車線	幅員22m ４車線	幅員23.5m ４車線	
事業着手	平成４年度	昭和49年度 平成８年度(復活) 平成15年度(延伸)	昭和51年度	昭和56年度	昭和40年度	平成10年度 (着工準備) 平成19年度 (着手)	平成２年度
都市計画決定	平成２年12月25日 平成11年８月17日 (一部変更)	平成８年11月５日	昭和26年６月14日 昭和61年１月31日	昭和39年度	昭和40年12月28日 昭和54年２月６日	平成19年４月24日	平成4年1月21日
用地着手	平成７年度	平成12年度	昭和63年度	昭和56年度	昭和40年度	未着手	平成５年度
工事着手	平成11年度	平成14年度	平成15年度	昭和56年度	昭和41年度	未着手	平成９年度
開通区間	平成15年3月21日 川越町南福崎～四日市広永町 (伊勢湾岸自動車道重複区間) (L=3.6km) 平成22年3月28日 みえ朝日IC～㊐大矢知富田線 (L=1.6km) 平成23年3月26日 ㊐大矢知富田線～㊤上海老茂福線 (L=1.0km) 平成22年3月28日 ㊤上海老茂福線～㊐垂坂１号線 (L=0.9km)	平成19年８月23日 大阪行きランプ (オンランプ) (L=0.7km) 平成20年３月23日 名古屋行きランプ (オフランプ) (L=0.7km)	平成19年12月13日 宮前町交差点（下り） 右折レーン２車線化	(名阪国道 L=41.6km) 昭和40年12月 全線 暫定２車開通 昭和55年３月 全線 完成４車供用	～昭和50年度 全線 暫定２車開通 昭和55年度～平成10年度 桑名市上深谷部～同市城南和泉 完成４車供用 (L=9.4km) 平成22年2月15日 桑名市多度町下野代～同市上深谷部 完成４車供用 (L=1.5km)	未開通	未開通

三重県北勢・伊賀地域の
安全で円滑な道路交通を目指して
北勢国道事務所

お問合せ先

夢を広げるみちづくり，ほくほくネットワーク
国土交通省中部地方整備局

北勢国道事務所

〒510-8013　三重県四日市市南富田町４－６
TEL：(059)363-5511（代）　　FAX：(059)363-5521（代）
〒519-0165　三重県亀山市野村４－３－２５（管理課）
TEL：(0595)82-1312（代）　　FAX：(0595)83-1319（代）
〒518-0842　三重県伊賀市上野桑町２０５５（上野維持出張所）
TEL：(0595)21-3011（代）　　FAX：(0595)21-9742（代）

ホームページアドレス　http://www.cbr.mlit.go.jp/hokusei/

携帯電話用サイト　https://www2.cbr.mlit.go.jp/hokusei/keitai/

北勢国道事務所が実施する事業については上記ホームページでもご覧いただけます

道に関する貴重なご意見・提案・相談・情報をお寄せ下さい。

道の相談室

http://www.cbr.mlit.go.jp/road/soudan/index.htm

ＴＥＬ：0120-106-497
E-mail：soudan@cb-its.jp

幹線道路の異状を発見したら・・・
緊急通報　ＴＥＬ：#9910（24時間受付）